

## 2024 年度支援事業（ビジネスプランコンテスト）選考結果総評

2024 年度の支援事業（ビジネスプランコンテスト）を募集したところ、ビジネスアイデア・ビジネスプランとも応募者は昨年と比べて大幅に増えました。当事業の周知が進んでいることの証左と思われます。当財団で選考した結果、課題提起・付加価値創造コース（アイデア募集）で 10 件、課題解決・事業化マッチングコース（プラン募集）で 1 件を採択いたしました。

課題提起・付加価値創造コース（アイデア募集）の審査にあたっては、応募者各位がそのアイデアに込めた価値観を尊重しようという方針のもとに審査を行っています。それとともに、本支援事業が意図する水・地域との関わりをもつかどうかについて配慮しております。また、アイデア募集ですから、新規性が求められます。したがって、すでに実績があるような提案は採択には至りませんでした。

採択されたアイデアは、地域の水の多様な価値を発見し、伝え、楽しみ、活かすということにつながる可能性、さらに、関係する人の輪が広がる可能性が感じられるものでした。採択された応募案件 10 件の多くは、個人、小グループからのものでした。なかには、実施するにあたってのハードルが高いのではと感じさせるものもあり、そうしたアイデアは今後の発展・展開を期待し採択しました。なお、これらのアイデアに関心をお持ちになり、アイデアの発案者（採択者）と接触を希望する方は、当財団までご連絡ください。

課題解決・事業化マッチングコース（プラン募集）への応募は、最終的に 8 件の応募者がプレゼンテーション審査に臨みました。審査の結果、FUKUSHIMA DINING LABORATORY の「SOBOKU 草木を喫する愉しみを。」を選出することとしました。

選出の経過については、当財団の設立趣旨に照らしつつ、事業の背景と目的、事業計画、事業の実施可能性の三つの指標を軸に選定にあたった結果、三つの指標がバランス良く満たされ、審査委員会でも非常に高い評価が得られました。なお、本プランは、2023 年度のアイデア募集で採択された「soboku 植物たちを、食物に。」の事業化を目指すものです。今後、このプランが実現され、提案されているビジネスにより、水と地域の課題解決につながることを期待しています。

来年度以降も本支援事業を実施します。水と地域に関して事業化につながる斬新なビジネスアイデア・ビジネスプランの応募をお待ちしております。